

2024年度 事業計画

施設名 東北沢つどいの家

1 利用計画

事業種別：	生活介護	定員	7人	利用者数	9人
	年間開所日数	242日		延べ利用者数	1524人 (利用率 90%)

(1) 障害支援区分

区分6	9人	区分5	0人	区分4	0人
区分3以下	0人	計		9人	

(2) 障害の程度

		身体障害者手帳				計
		1級	2級	3~7級	なし	
愛 の 手 帳	1度					0人
	2度	3人				3人
	3~4度					0人
	なし	6人				6人
計		9人	0人	0人	0人	9人

(3) 年齢、性別

10代以下	0人	40代	3人	男性	4人
20代	5人	50代	1人	女性	5人
30代	0人	60代以上	0人	計	9人
計			9人		

※平均年齢：34.3才 4月1日現在

2 事業実施計画

(1) 活動・支援の内容

概要

- 障害者総合支援法に定める、常時介護を要するものにつき、主として日中において、排せつ及び食事等の介護、調理、洗濯及び掃除等の家事並びに生活等に関する相談及び助言その他の必要な日常生活上の支援、創作的活動又は生産活動の機会の提供その他の身体機能又は生活能力の向上のために必要な援助を行う。
- 施設での活動や行事、地域イベントへの参加などを通じて利用者が社会経験を積める機会を設けて、自分自身で判断をする基準を養い、『考えること』を習慣づけていくような支援を行う。
- 地域との連携を再構築していけるように販売会などの行事への参加などに努めていく。
- 利用者・保護者の高齢化等、変化を見据えて、他支援機関との情報共有を図り、支援の一翼を担っていく。
- 第三者評価を実施し、利用者支援の質の維持・適切な運営管理の維持に努める。

(2) 地域交流

- 感染症対策に留意しながらも、販売会や外出活動などを通じて、利用者と地域社会とのつながりが構築出来るよう、取り組んでいく。
- 北沢区民集会所の1階という立地を活かし、周辺の清掃や集会所利用者への案内などを通して、当事業所の存在をアピールする。また、当事業所の非常勤調理員募集などは、近所への求人チラシ配布などを行い、地域住民の雇用を中心に進めていく。

(3) 家族、関係機関との連携等

- ・ 保護者会・個別面談・家庭訪問など、利用者家庭との連絡・情報共有に引き続き注力していく。
- ・ 高齢化による利用者の重度化や家族の状況変化などを見逃さない様に心がけ、生活環境の転換に助言・対応できるようにする。その為に、利用者支援チームの一角として、相談支援や区など関係機関との連携を図る。
- ・ 新規の利用者に関して、区や他事業所、特別支援学校との情報共有を密にし、地域に暮らす障害者のニーズを把握して、当事業所の利用率の向上へつないでいく。

(4) ボランティアや実習生の受入れ

- ・ 感染症対策に十分留意しながらも、ナツボラ受け入れや、大学のボランティアサークル受け入れなどを進めていく。また、昨年の光明学園中堅教員実習生受け入れのように、外部の実習生についても引き続き受け入れを行っていき、普段見知った顔とは違う方々との触れ合いによる有益な体験を利用者に提供していく。

(5) 危機管理

- ・ 安心して通い、過ごせる施設を維持する為に、策定したBCP（事業継続計画）を基に、緊急時にも事業を可能な限り継続出来るよう、設備・制度を整えていく。引き続き感染防止を最上位に位置づけながらも、世の中の状況に合わせて、利用者にとっての日中の暮らしの場である当事業所を継続できる環境を維持していく。
- ・ 大規模災害等に備えて、防災備品の確認と整備を行っていく。

(6) 職員研修の実施

- ・ 動画研修などを積極的に活用し、各々の職員研修する機会を増やしていきながら個々の支援力向上を目指す。
- ・ 研修の中では、将来の対応に備えて、医療的ケアに関する内容の物も含め、見識を広げておく。

3 重点目標と取り組み

① 『自分らしく暮らしていく』事の考察と取り組み実施

「ミーティング」「セルフ」などの活動時間を利用して、これからも地域で生活していくのに必要な情報・知識を深める機会を設けて、『自分らしく暮らしていく』事について、利用者が考えていく時間を作る。そこから、個々の思い描く将来の自立した生活に向けての取り組みを考え、実施していく。

② 外とのつながりの再構築

長期にわたるコロナ禍で中止してきた外出する機会を再構築し、時代状況を反映しつつより充実した形で年間行事として提供していく。区内の販売会にも積極的に参加し、利用者がこの地域で暮らし、地域の人々とつながっている事をより意識出来るような展開を行っていく。

③ 職員の研修への取り組み

全ての職員が事前に組んだ研修計画をもとに、個々の目標に向けて取り組む。法人内外の他事業所への見学や実習を実施し、自事業所や利用者の強みを伸ばせる支援のスキルや考え方を身につけ、充実させる。